

(分析編)

1. 重要度、満足度について

分析を行うに際して、重要度、満足度（不満度）という指標を用いている。

(1) 重要度、満足度の平均得点について

各分野の取組の重要意識及び満足意識の各選択肢に得点をつけ、平均得点を算出したものである。得点配分は下表のとおりとなっている。選択肢に重みをつけることから、回答者の重要意識・満足意識を総合的に反映したより深い分析が可能となる。結果を基に 44 項目の重要度・満足度の現状や、重要度と満足度の関係等を分析する。

得点配分

重要度	満足度	ポイント
重 要	満 足	+ 2
どちらかといえば重要	どちらかといえば満足	+ 1
どちらともいえない	どちらともいえない	± 0
どちらかといえば重要でない	どちらかといえば不満	- 1
重要でない	不 満	- 2
わからない、無回答		± 0

$$\text{重要度} = \frac{\text{「重要」} \times 2 + \text{「どちらかといえば重要」} + \text{「どちらかといえば重要でない」} \times (-1) + \text{「重要でない」} \times (-2)}{\text{「わからない」「無回答」を除く有効回答者数}}$$

$$\text{満足度} = \frac{\text{「満足」} \times 2 + \text{「どちらかといえば満足」} + \text{「どちらかといえば不満」} \times (-1) + \text{「不満」} \times (-2)}{\text{「わからない」「無回答」を除く有効回答者数}}$$

(2) 重要度、満足度のプロット図

満足度を横軸に、重要度を縦軸にとって44項目の回答結果をプロットした。

また、44項目の重要度と満足度のそれぞれの平均値（重要度平均値 1.37、満足度平均値 -0.13）によって分けられた4つのグループについて、以下のとおり考えられる。



A 重要度が平均値より高く、満足度が平均値より低い項目

グラフ左上に位置する項目は、施策の必要性が十分認識され、特に取組の推進や改善に対する県民のニーズ（期待）が高い項目と考えられ、従来の施策の取組方向について、さらに改善を検討する必要がある。

B 重要度、満足度ともに平均値より高い項目

グラフ右上に位置する項目は、施策の必要性が十分認識され、その取組にも満足されている項目と考えられ、今後も現在の水準を維持するため、着実に取組を推進する必要がある。

C 重要度、満足度ともに平均値より低い項目

グラフ左下に位置する項目は、取組の推進や改善に対するニーズは高いものの、他の施策と比較してその必要性の認識が低い項目と考えられ、施策の重要性をさらに認知してもらえるような取組とともに、従来の施策の取組方向の改善を検討する必要がある。

D 重要度が平均値より低く、満足度が平均値より高い項目

グラフ右下に位置する項目は、他の施策と比較してその必要性の認識は低いものの、取組には満足されている項目と考えられ、現状どおりの着実な取組の推進とともに、施策の重要性についてさらに認知してもらえる取組を進める必要がある。

また、圏域別や認知状況による違い等を分析する際、県全体や他圏域との比較を分かりやすくするため、ゾーン分けは県全体の平均ラインを用い、参考として図中に圏域の重要度、満足度の平均ラインを点線で示している。

2. 県行政の取組 44 項目に対する重要度、満足度

平成 17 年度における県行政の取組に対する重要度、満足度の平均得点の結果は、以下のようになった。

重要度については、すべての項目でゼロ以上となっており、県民は 44 項目のいずれについても重要だと感じていることがわかる。また、満足度については多くの項目が負（マイナス）の値を示しており、特に「雇用」「地域商工業」の満足度は低くなっている。

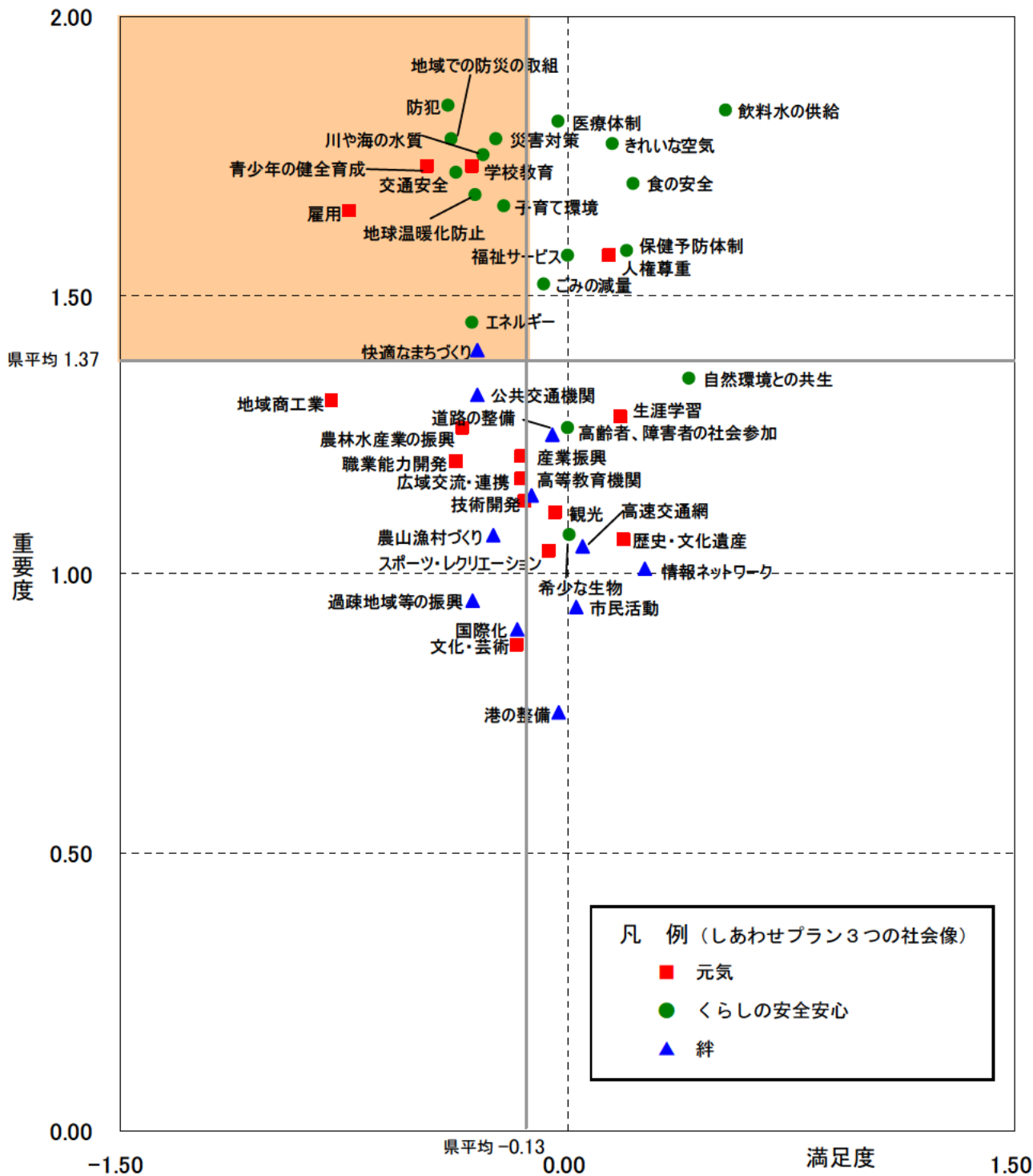
表 平成 17 年度の重要度、満足度

順位	項目	重要度	項目	満足度
1位	13.防犯	1.84	44.飲料水の供給	0.53
2位	44.飲料水の供給	1.83	20.自然環境との共生	0.41
3位	18.医療体制	1.81	35.情報ネットワーク	0.26
4位	10.地域での防災の取組	1.78	14.食の安全	0.22
5位	11.災害対策	1.78	16.保健予防体制	0.20
6位	23.きれいな空気	1.77	08.歴史・文化遺産	0.19
7位	24.川や海の水質	1.75	02.生涯学習	0.18
8位	03.学校教育	1.73	23.きれいな空気	0.15
9位	04.青少年の健全育成	1.73	01.人権尊重	0.14
10位	12.交通安全	1.72	36.高速交通網	0.05
11位	14.食の安全	1.70	06.市民活動	0.03
12位	25.地球温暖化防止	1.68	21.希少な生物	0.01
13位	17.子育て環境	1.66	15.高齢者、障害者の社会参加	0.00
14位	31.雇用	1.65	19.福祉サービス	0.00
15位	16.保健予防体制	1.58	18.医療体制	-0.03
16位	01.人権尊重	1.57	39.港の整備	-0.03
17位	19.福祉サービス	1.57	28.観光	-0.04
18位	22.ごみの減量	1.52	37.道路の整備	-0.05
19位	43.エネルギー	1.45	09.スポーツ・レクリエーション	-0.06
20位	40.快適なまちづくり	1.40	22.ごみの減量	-0.08
21位	20.自然環境との共生	1.35	34.広域交流・連携	-0.12
22位	38.公共交通機関	1.32	29.技術開発	-0.14
23位	30.地域商工業	1.31	05.高等教育機関	-0.15
24位	02.生涯学習	1.28	27.産業振興	-0.15
25位	15.高齢者、障害者の社会参加	1.26	07.文化・芸術	-0.17
26位	26.農林水産業の振興	1.26	33.国際化	-0.17
27位	37.道路の整備	1.25	17.子育て環境	-0.21
28位	27.産業振興	1.21	11.災害対策	-0.24
29位	32.職業能力開発	1.20	41.農山漁村づくり	-0.25
30位	05.高等教育機関	1.17	24.川や海の水質	-0.28
31位	34.広域交流・連携	1.14	38.公共交通機関	-0.30
32位	29.技術開発	1.13	40.快適なまちづくり	-0.30
33位	28.観光	1.11	25.地球温暖化防止	-0.31
34位	21.希少な生物	1.07	03.学校教育	-0.32
35位	41.農山漁村づくり	1.07	42.過疎地域等の振興	-0.32
36位	08.歴史・文化遺産	1.06	43.エネルギー	-0.32
37位	36.高速交通網	1.05	26.農林水産業の振興	-0.35
38位	09.スポーツ・レクリエーション	1.04	12.交通安全	-0.37
39位	35.情報ネットワーク	1.01	32.職業能力開発	-0.37
40位	42.過疎地域等の振興	0.95	10.地域での防災の取組	-0.39
41位	06.市民活動	0.94	13.防犯	-0.40
42位	33.国際化	0.90	04.青少年の健全育成	-0.47
43位	07.文化・芸術	0.87	31.雇用	-0.73
44位	39.港の整備	0.75	30.地域商工業	-0.79
	重要度平均	1.37	満足度平均	-0.13

3. 重要度、満足度プロット図

(1) 重要度、満足度プロット図

図 重要度と満足度の関係（平成 17 年度）



図は横軸に満足度、縦軸に重要度をとって、各項目をプロットしたものである。重要度については、すべての項目でゼロ以上となっており、県民はどの項目も重要に感じている傾向がみられる。

取組の推進や改善に対する県民のニーズ（期待）が高いAゾーンの項目としては、「雇用」「防犯」「青少年の健全育成」「交通安全」「川や海の水質」「学校教育」「地域での防災の取組」「地域温暖化防止」「災害対策」「子育て環境」「エネルギー」「快適なまちづくり」があげられる。

属性別にみると、「雇用」は年齢層別、圏域別にみても重要度はほとんど変わらないが、不満度は、県南部ほど高くなっている。「防犯」「地域での防災の取組」「災害対策」については若年層で重要度が高く、若い人ほど防犯や防災など地域の“安全”の重要性を身近に感じている傾向がみられる。また、「学校教育」や「青少年の健全育成」については、20～50代での不満度が高く、「子育て環境」については20～30歳代の若年層での重要度、不満度も高くなっており、尾鷲地域での不満度が高くなっている。（集計資料 p7～94）

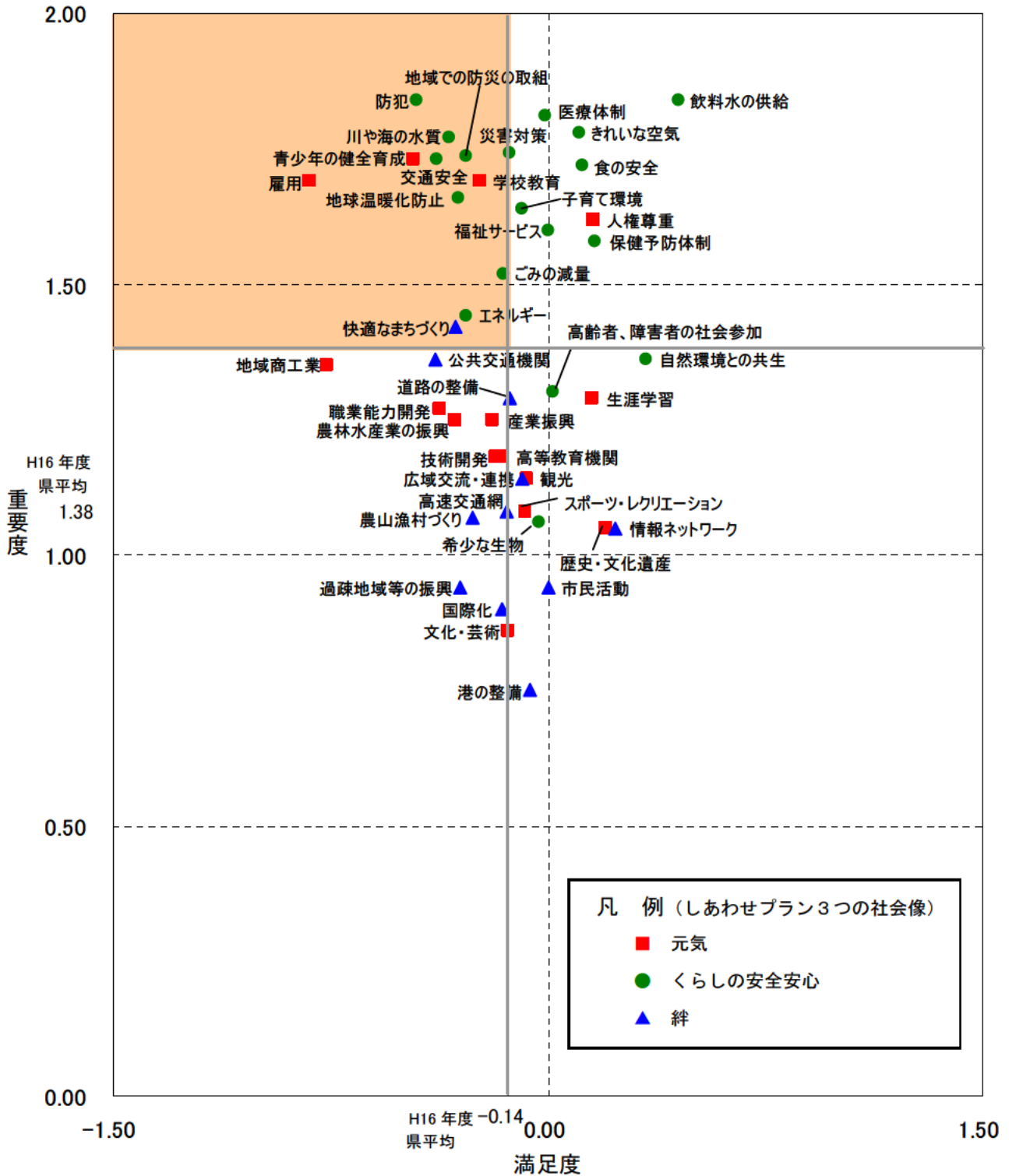
しあわせプランの3つの社会像別でみると、「くらしの安全安心」に関する項目が重要度の平均値以上の位置に多くあげられており、県民の安全・安心に対する関心が高いことがうかがえ、その中でも満足度の低い項目として、安全面で「防犯」「地域での防災の取組」「災害対策」「交通安全」が、環境面で「川や海の水質」「地球温暖化防止」「エネルギー」があげられている。「元気」に関する項目では、「青少年の健全育成」「学校教育」があげられ、「くらしの安全安心」でニーズの高い「子育て環境」とあわせ次世代を育む施策のニーズが高いことがうかがえるとともに、「雇用」のニーズも高くなっている。「絆」に関する項目では、「快適なまちづくり」があげられている。

「飲料水の供給」「医療体制」「きれいな空気」「食の安全」「人権尊重」「福祉サービス」「保健予防体制」「ごみの減量」等については、重要度、満足度ともに平均値以上であるBゾーンに位置しており、今後も着実に取組を推進していくことが必要な施策であると考えられる。

（2）平成16年度との比較

平成16年度と平成17年度との重要度、満足度の関係を比較すると、重要度平均値（今回：1.37、前回：1.38）、満足度平均値（今回：-0.13、前回：-0.14）にほとんど差はみられず、そのため分布についても特に大きな変化はみられない。また、前回Aゾーンに位置していた「ごみの減量」がBゾーンに移行し、代わりに「災害対策」「子育て環境」がBゾーンからAゾーンへと移行している。

図 重要度と満足度の関係（平成 16 年度）

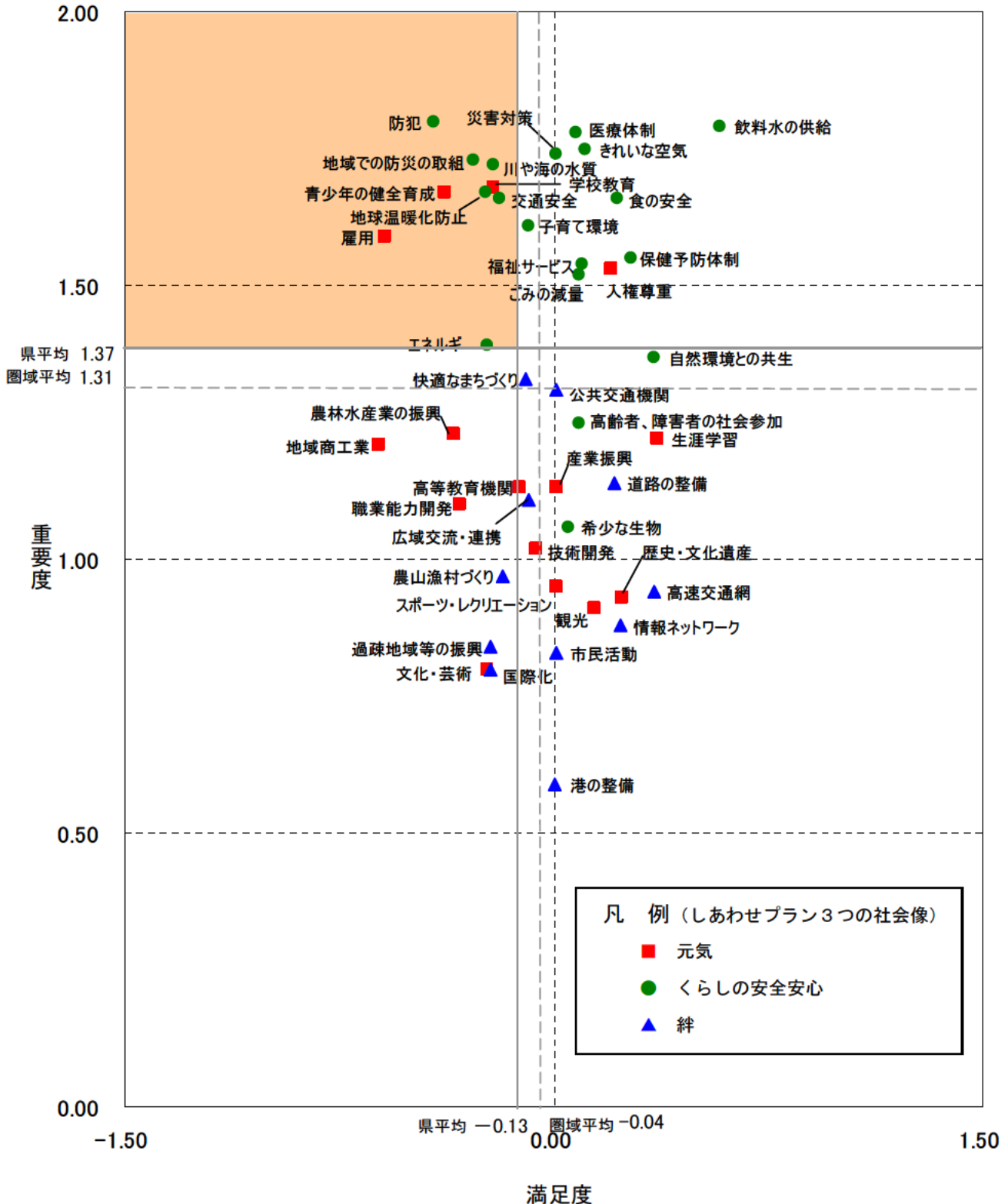


(3) 重要度、満足度の地域特性

9圏域について、それぞれ重要度、満足度の関係を図にプロットして地域的な特性をつかむ。県全体の場合と比較するため、県全体の場合の平均値ラインを実線「——」で、各圏域の平均値ラインを点線「- - - - -」で示す。

① 桑名・員弁地域

図 重要度と満足度の関係（桑名・員弁）



県全体の場合と比較して、重要度の平均が低く、満足度の平均が高くなっている。

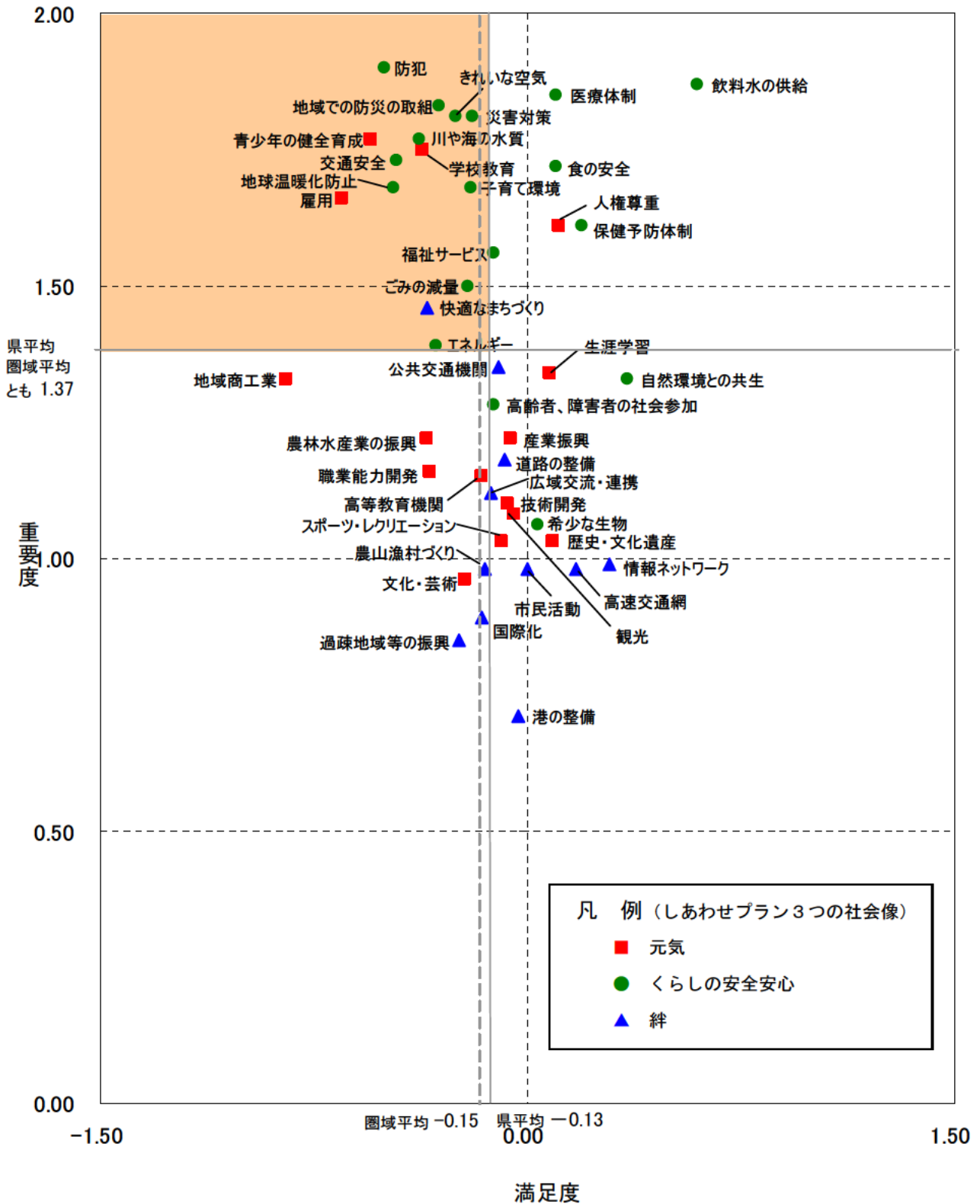
Aゾーンに入る項目としては、「学校教育」「交通安全」「地球温暖化防止」「エネルギー」「防犯」「雇用」「青少年の健全育成」「川や海の水質」「地域での防災の取組」があげられ、県全体ではAゾーンに入っている「災害対策」「子育て環境」「快適なまちづくり」が桑名・員弁地域ではAゾーンには入っていない。

しあわせプランの3つの社会像別でみると、「くらしの安全安心」に関する項目では「地域での防災の取組」「交通安全」「防犯」「川や海の水質」「地球温暖化防止」「エネルギー」が、「元気」に関する項目では「学校教育」「青少年の健全育成」「雇用」があげられている一方、「絆」に関する項目はあげられていない。

なお、県全体と比べて満足度が高い項目は、「災害対策」「高速交通網」「道路の整備」「公共交通機関」「快適なまちづくり」等と、交通の利便性に関連する項目が多くあげられている。

②四日市地域

図 重要度と満足度の関係（四日市）



県全体の場合と比較して、重要度の平均に大きな違いはみられないが、満足度の平均はやや高くなっている。

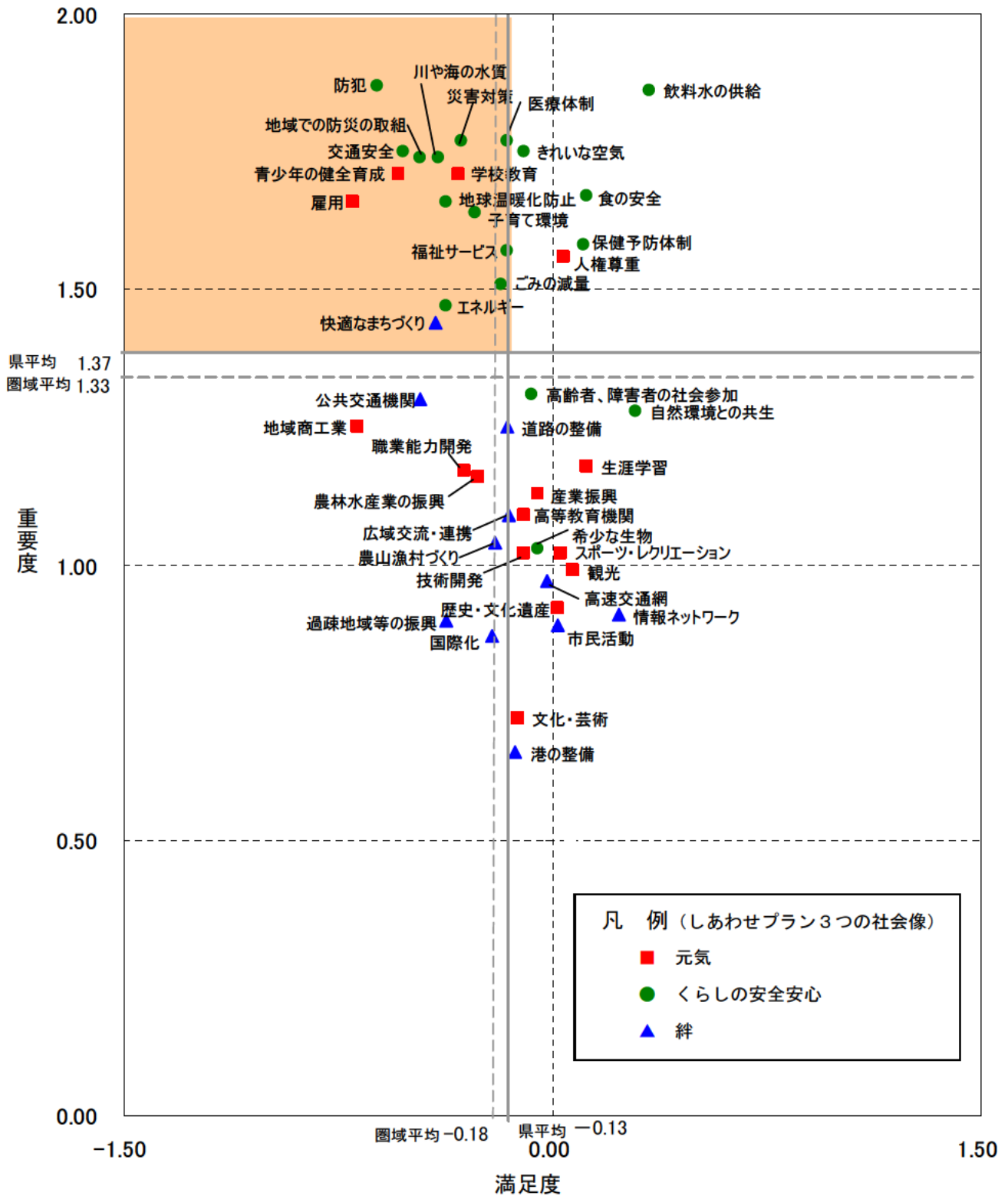
Aゾーンに入る項目としては、「災害対策」「子育て環境」「ごみの減量」「快適なまちづくり」「エネルギー」「防犯」「川や海の水質」「青少年の健全育成」「雇用」「地域での防災の取組」「交通安全」「地球温暖化防止」「学校教育」「きれいな空気」があげられ、県全体ではAゾーンに入っていない「ごみの減量」「きれいな空気」が四日市ではAゾーンに入り、とりわけ「きれいな空気」は四日市地域のみでニーズの高い項目としてあげられている。

しあわせプランの3つの社会像別でみると、「くらしの安全安心」に関する項目では安全面で「地域での防災の取組」「災害対策」「交通安全」「防犯」が、環境面で「ごみの減量」「きれいな空気」「川や海の水質」「地球温暖化防止」「エネルギー」があげられている。「元気」に関する項目では、「青少年の健全育成」「学校教育」があげられ、「くらしの安全安心」でニーズの高い「子育て環境」とあわせ次世代を育む施策のニーズが高いことがうかがえるとともに、「雇用」のニーズも高くなっている。「絆」に関する項目では、「快適なまちづくり」があげられている。

なお、県全体と比べて満足度が高い項目としては、「公共交通機関」があげられている。

③鈴鹿・亀山地域

図 重要度と満足度の関係（鈴鹿・亀山）



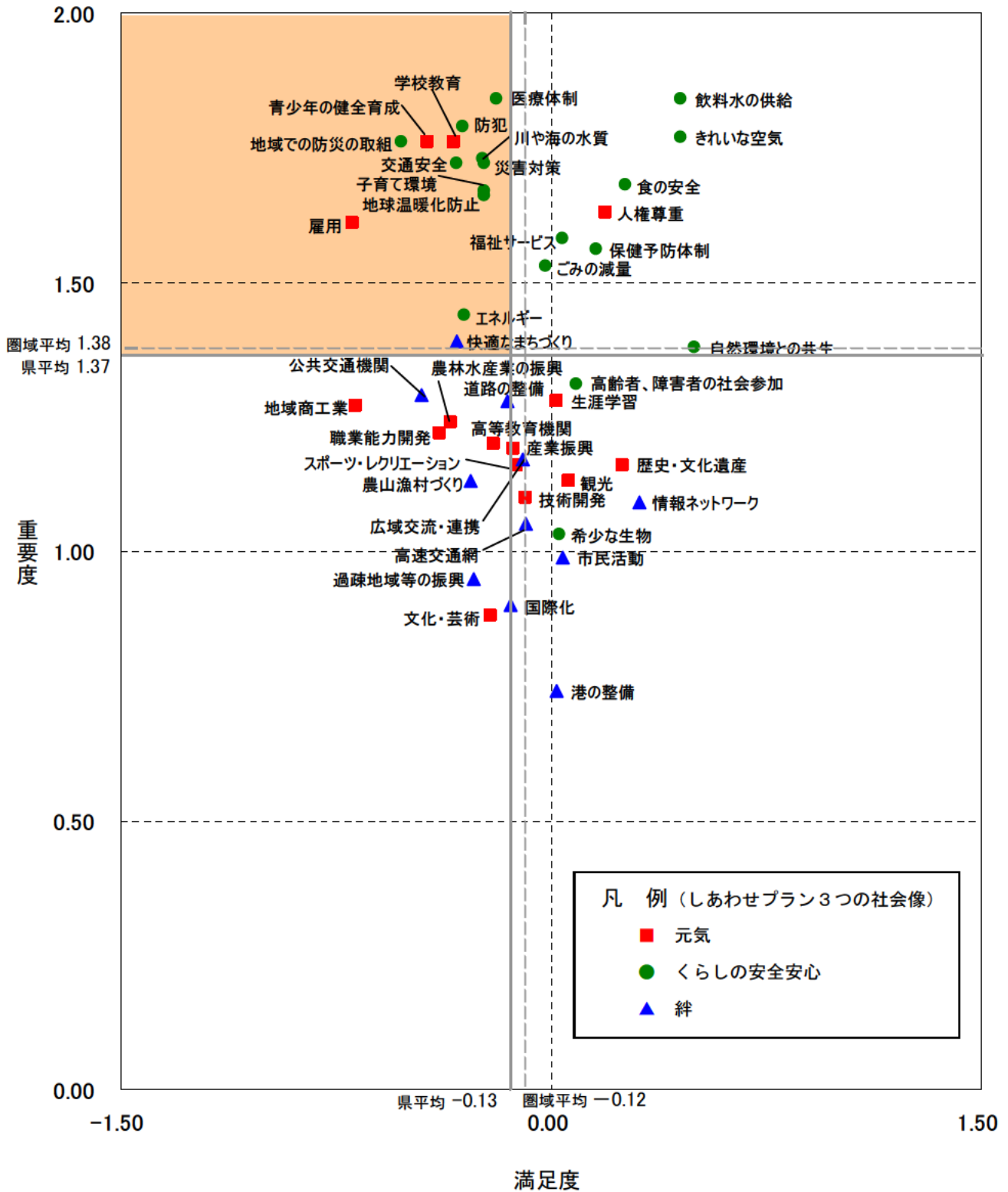
県全体の場合と比較して、重要度の平均はやや低く、満足度の平均は低くなっている。

Aゾーンに入る項目としては、「学校教育」「子育て環境」「地球温暖化防止」「快適なまちづくり」「エネルギー」「防犯」「雇用」「交通安全」「青少年の健全育成」「川や海の水質」「災害対策」「地域での防災の取組」「医療体制」「福祉サービス」「ごみの減量」の15項目があげられ、県全体ではAゾーンに入っていない「医療体制」「福祉サービス」「ごみの減量」が鈴鹿・亀山地域ではAゾーンに入っている。

しあわせプランの3つの社会像別でみると、「くらしの安全安心」に関する項目では安全面で「地域での防災の取組」「災害対策」「交通安全」「防犯」が、安心面で「医療体制」「福祉サービス」が、環境面で「ごみの減量」「川や海の水質」「地球温暖化防止」「エネルギー」があげられている。「元気」に関する項目では、「青少年の健全育成」「学校教育」があげられ、「くらしの安全安心」でニーズの高い「子育て環境」とあわせ次世代を育む施策のニーズが高いことがうかがえるとともに、「雇用」のニーズも高くなっている。「絆」に関する項目では、「快適なまちづくり」があげられている。

④伊賀地域

図 重要度と満足度の関係（伊賀）



県全体の場合と比較して、重要度、満足度の平均とも大きな違いはみられない。

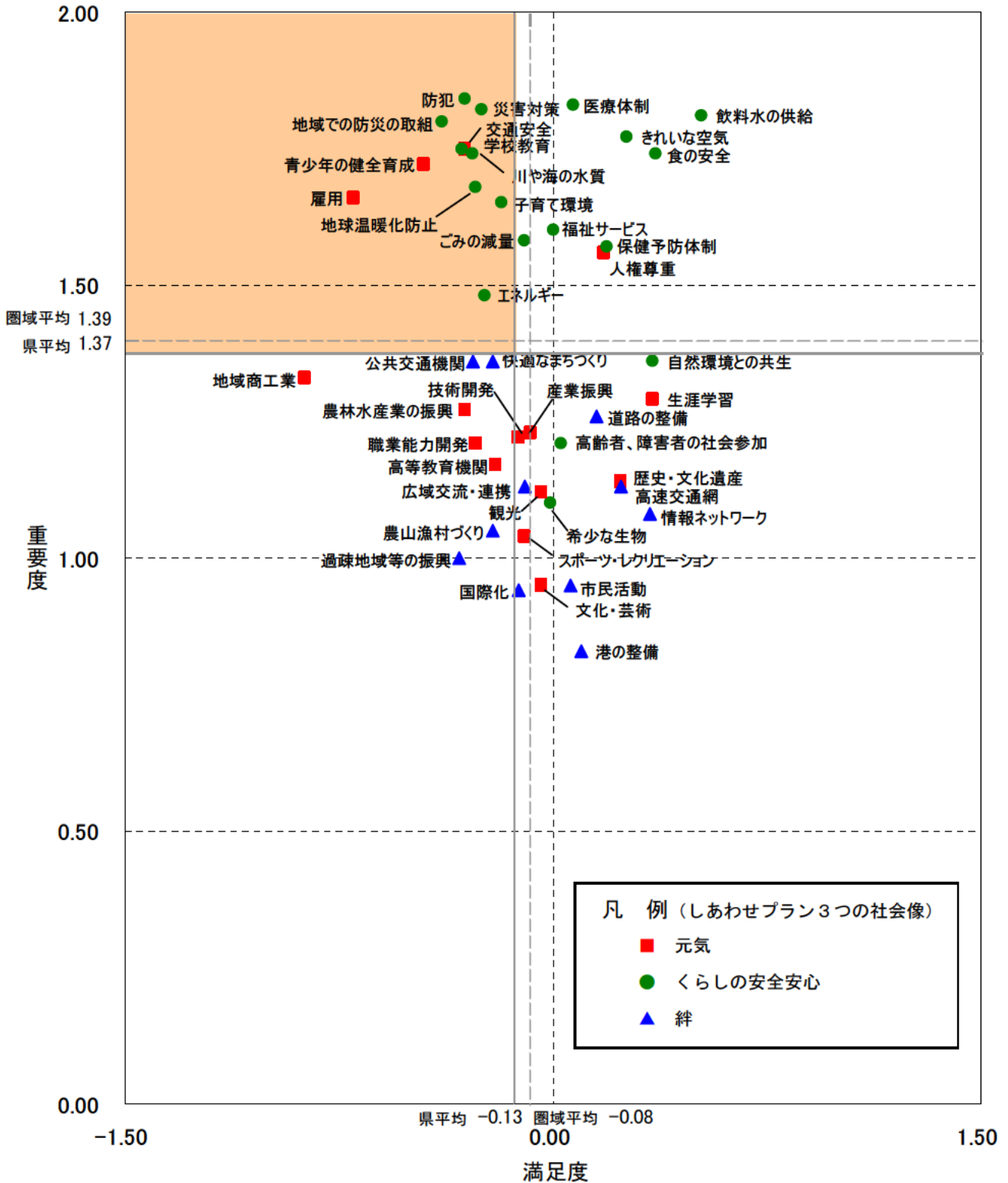
Aゾーンに入る項目としては、「災害対策」「医療体制」「子育て環境」「川や海の水質」「地球温暖化防止」「快適なまちづくり」「エネルギー」「防犯」「雇用」「交通安全」「青少年の健全育成」「地域での防災の取組」「学校教育」の13項目があげられ、県全体ではAゾーンに入っていない「医療体制」が伊賀地域ではAゾーンに入っている。

しあわせプランの3つの社会像別でみると、「くらしの安全安心」に関する項目では安全面で「地域での防災の取組」「災害対策」「交通安全」「防犯」が、安心面で「医療体制」が、環境面で「ごみの減量」「川や海の水質」「地球温暖化防止」「エネルギー」があげられている。「元気」に関する項目では、「青少年の健全育成」「学校教育」があげられ、「くらしの安全安心」でニーズの高い「子育て環境」とあわせ次世代を育む施策のニーズが高いことがうかがえるとともに、「雇用」のニーズも高くなっている。「絆」に関する項目では、「快適なまちづくり」があげられている。

なお、県全体と比べて満足度が高い項目としては、「きれいな空気」があげられている。

⑤津・久居地域

図 重要度と満足度の関係（津・久居）



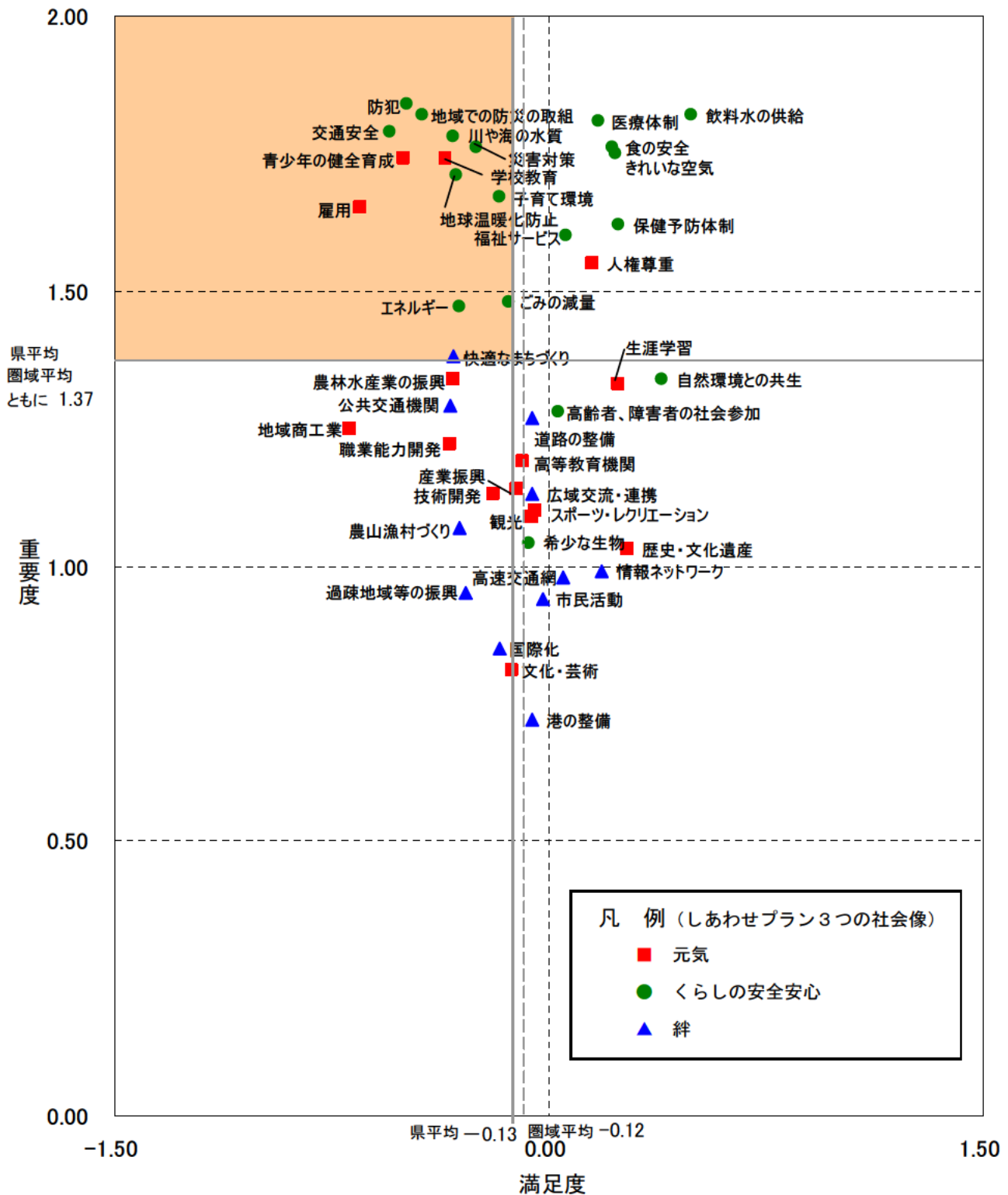
県全体の場合と比較して、重要度の平均はやや高く、満足度は高くなっている。

Aゾーンに入る項目としては、「子育て環境」「地球温暖化防止」「エネルギー」「防犯」「地域での防災の取組」「災害対策」「雇用」「川や海の水質」「青少年の健全育成」「交通安全」「学校教育」の11項目があげられ、県全体ではAゾーンに入っている「快適なまちづくり」が津・久居地域ではAゾーンには入っていない。

しあわせプランの3つの社会像別でみると、「くらしの安全安心」に関する項目では安全面で「地域での防災の取組」「災害対策」「交通安全」「防犯」が、環境面で「川や海の水質」「地球温暖化防止」「エネルギー」があげられている。「元気」に関する項目では、「青少年の健全育成」「学校教育」があげられ、「くらしの安全安心」でニーズの高い「子育て環境」とあわせ次世代を育む施策のニーズが高いことがうかがえるとともに、「雇用」のニーズも高くなっている一方、「絆」に関する項目はあげられていない。

⑥松阪・紀勢地域

図 重要度と満足度の関係（松阪・紀勢）



県全体の場合と比較して、重要度、満足度の平均ともに大きな違いはみられない。

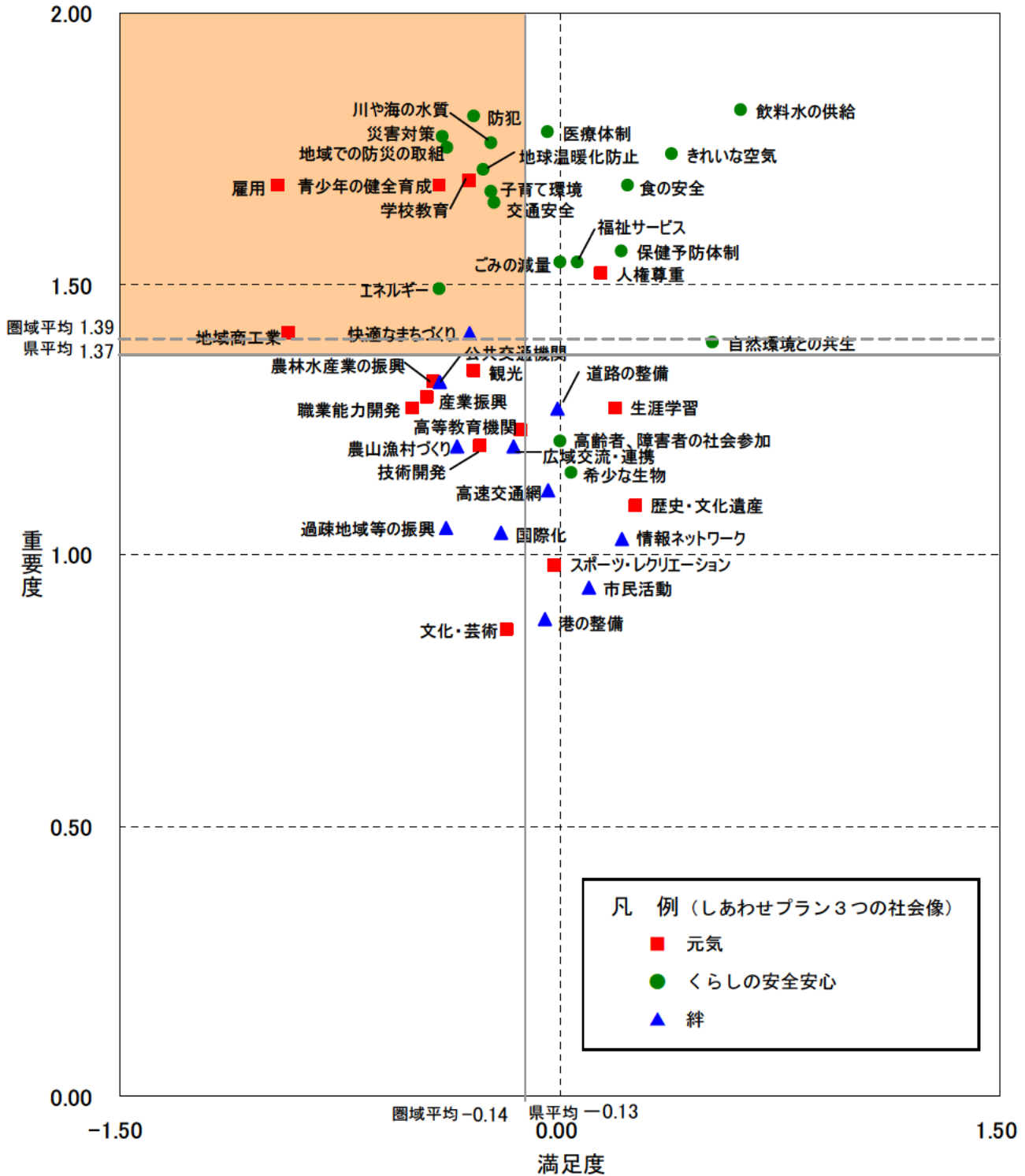
Aゾーンに入る項目としては、「子育て環境」「ごみの減量」「快適なまちづくり」「エネルギー」「防犯」「雇用」「青少年の健全育成」「交通安全」「地域での防災の取組」「学校教育」「地球温暖化防止」「川や海の水質」「災害対策」の13項目があげられ、県全体ではAゾーンに入っていない「ごみの減量」が松阪・紀勢地域ではAゾーンに入っている。

しあわせプランの3つの社会像別でみると、「くらしの安全安心」に関する項目では安全面で「地域での防災の取組」「災害対策」「交通安全」「防犯」が、環境面で「ごみの減量」「川や海の水質」「地球温暖化防止」「エネルギー」があげられている。「元気」に関する項目では、「青少年の健全育成」「学校教育」があげられ、「くらしの安全安心」でニーズの高い「子育て環境」とあわせ次世代を育む施策のニーズが高いことがうかがえるとともに、「雇用」のニーズも高くなっている。「絆」に関する項目では、「快適なまちづくり」があげられている。

なお、県全体と比べて満足度が高い項目としては、「医療体制」があげられている。

⑦伊勢志摩地域

図 重要度と満足度の関係（伊勢志摩）



県全体の場合と比較して、重要度の平均はやや高く、満足度の平均に大きな違いはみられない。

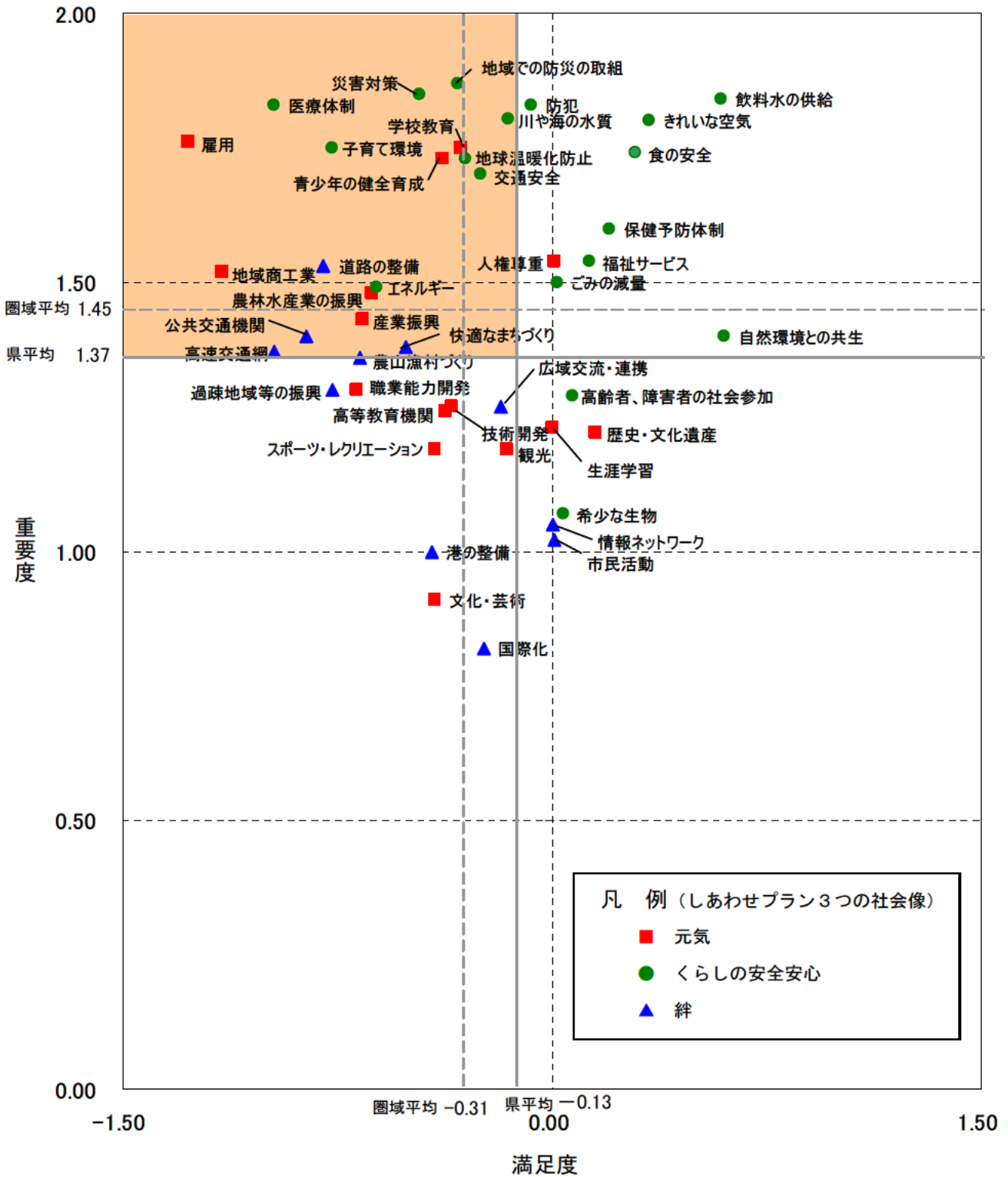
Aゾーンに入る項目としては、「交通安全」「子育て環境」「地域商工業」「快適なまちづくり」「エネルギー」「防犯」「雇用」「地域での防災の取組」「青少年の健全育成」「学校教育」「川や海の水質」「災害対策」「地球温暖化防止」の13項目があげられ、県全体ではAゾーンに入っていない「地域商工業」が伊勢志摩地域ではAゾーンに入っている。

しあわせプランの3つの社会像別でみると、「くらしの安全安心」に関する項目では安全面で「地域での防災の取組」「災害対策」「交通安全」「防犯」が、環境面で「川や海の水質」「地球温暖化防止」「エネルギー」があげられている。「元気」に関する項目では、「青少年の健全育成」「学校教育」があげられ、「くらしの安全安心」でニーズの高い「子育て環境」とあわせ次世代を育む施策のニーズが高いことがうかがえるとともに、「雇用」「地域商工業」のニーズも高くなっている。「絆」に関する項目では、「快適なまちづくり」があげられている。

なお、県全体と比べて満足度が高い項目としては、「きれいな空気」があげられているのに対し、満足度が低い項目としては、「産業振興」があげられている。

⑧尾鷲地域

図 重要度と満足度の関係（尾鷲）



県全体の場合と比較して、重要度の平均は高く、満足度の平均は低くなっている。また、全体的に満足度の分布幅が大きく、項目によって満足度の差が大きい。

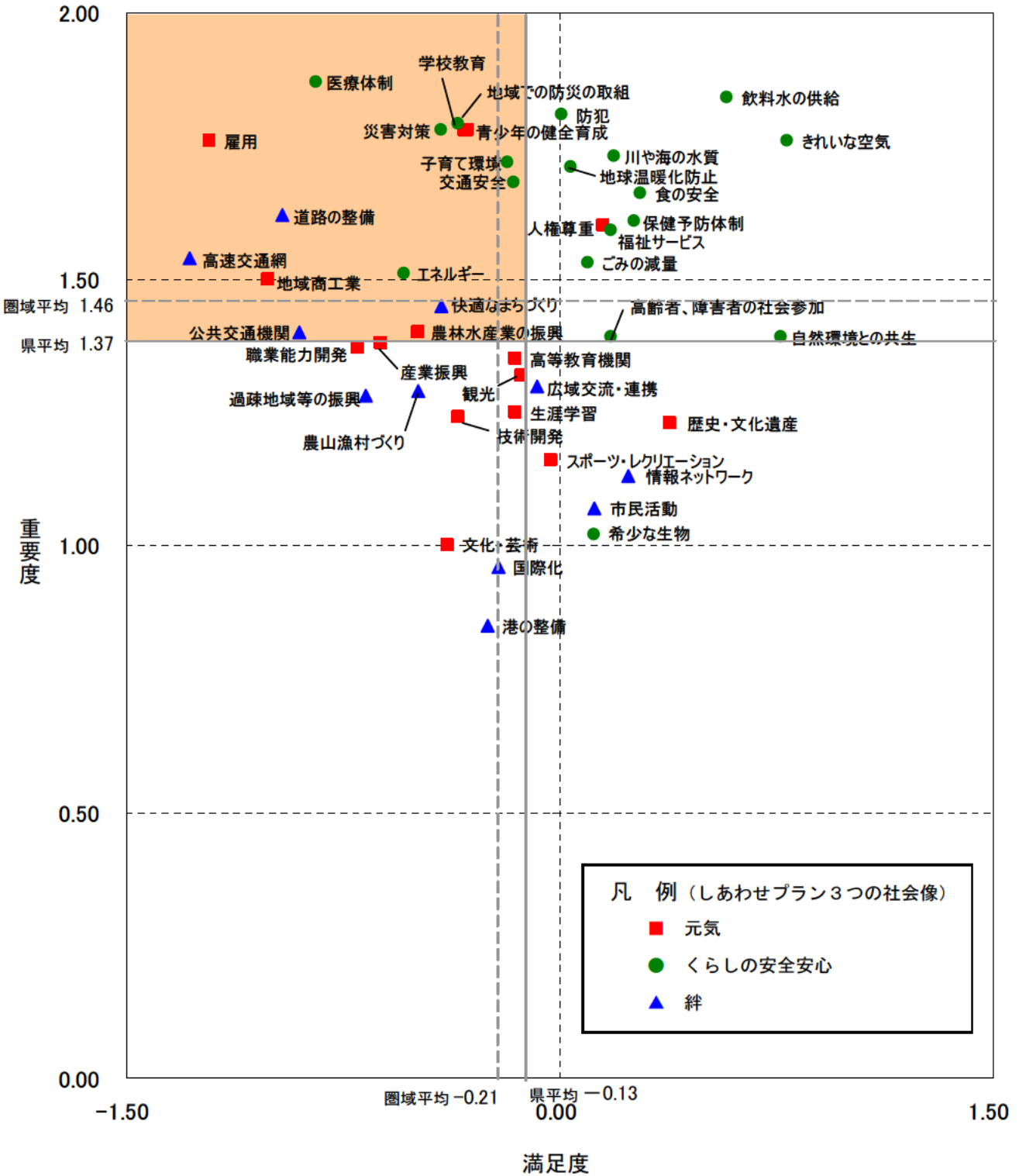
Aゾーンに入る項目としては、「学校教育」「青少年の健全育成」「地域での防災の取組」「災害対策」「交通安全」「子育て環境」「医療体制」「川や海の水質」「地球温暖化防止」「農林水産業の振興」「産業振興」「地域商工業」「雇用」「高速交通網」「道路の整備」「公共交通機関」「快適なまちづくり」「エネルギー」の18項目があげられ、県全体ではAゾーンに入っていない「医療体制」「農林水産業の振興」「産業振興」「地域商工業」「高速交通網」「道路の整備」「公共交通機関」の7項目が尾鷲地域ではAゾーンに入っている。

しあわせプランの3つの社会像別でみると、「くらしの安全安心」に関する項目では安全面で「地域での防災の取組」「災害対策」「交通安全」が、安心面で「医療体制」が、環境面で「川や海の水質」「地球温暖化防止」「エネルギー」があげられている。「元気」に関する項目では、「青少年の健全育成」「学校教育」があげられ、「くらしの安全安心」でニーズの高い「子育て環境」とあわせ次世代を育む施策のニーズが高いことがうかがえるとともに、産業面で「農林水産業の振興」「産業振興」「雇用」「地域商工業」のニーズが高くなっている。「絆」に関する項目では、「快適なまちづくり」があげられている他、交通面の「高速交通網」「道路の整備」「公共交通機関」があげられている。

なお、県全体と比べて満足度が高い項目としては、「防犯」があげられているのに対し、満足度が低い項目としては、「スポーツ・レクリエーション」「子育て環境」「医療体制」「産業振興」「地域商工業」「雇用」「職業能力開発」「高速交通網」「道路の整備」「公共交通機関」「過疎地域等の振興」等があげられ、特に「医療体制」に対する満足度の平均は圏域の中で最も低くなっている。

⑨熊野地域

図 重要度と満足度の関係 (熊野)



県全体の場合と比較して、重要度の平均は高く、満足度の平均は低くなっており、尾鷲地域と同様に、満足度の分布幅が大きく、項目によって満足度の差が大きい。

Aゾーンに入る項目としては、「学校教育」「青少年の健全育成」「地域での防災の取組」「災害対策」「交通安全」「子育て環境」「医療体制」「農林水産業の振興」「産業振興」「地域商工業」「雇用」「高速交通網」「道路の整備」「公共交通機関」「快適なまちづくり」「エネルギー」の16項目があげられ、県全体ではAゾーンに入っていない「医療体制」「農林水産業の振興」「産業振興」「地域商工業」「高速交通網」「道路の整備」「公共交通機関」の7項目が熊野地域ではAゾーンに入っている。一方、県全体ではAゾーンに入っている「川や海の水質」「地球温暖化防止」が熊野地域ではAゾーンに入っていない。

しあわせプランの3つの社会像別でみると、「くらしの安全安心」に関する項目では安全面で「地域での防災の取組」「災害対策」「交通安全」が、安心面で「医療体制」が、環境面で「エネルギー」があげられている。「元気」に関する項目では、「青少年の健全育成」「学校教育」があげられ、「くらしの安全安心」でニーズの高い「子育て環境」とあわせ次世代を育む施策のニーズが高いことがうかがえるとともに、産業面で「農林水産業の振興」「産業振興」「雇用」「地域商工業」のニーズが高くなっている。「絆」に関する項目では、「快適なまちづくり」があげられている他、交通面の「高速交通網」「道路の整備」「公共交通機関」があげられている。

なお、県全体と比べて満足度が高い項目としては、「交通安全」「防犯」「自然環境との共生」「きれいな空気」「川や海の水質」「地球温暖化」等、環境面に関する項目が多くあげられている。一方、満足度が低い項目としては、「生涯学習」「医療体制」「産業振興」「雇用」「職業能力開発」「高速交通網」「道路の整備」「公共交通機関」「港の整備」「農山魚村づくり」「過疎地域等の振興」等があげられている。

<地域特性の総括>

県南部の尾鷲、熊野地域は「満足度、重要度プロット図」をみると、他の地域と比べて満足度の分布が分散しているが、主に重要度が高く不満度が高い（＝ニーズが高い）左上方に位置にしていることが特徴といえ、中でも「医療体制」や「道路の整備」等交通面の項目が他地域に比べて左上方に位置している。一方、他地域でAゾーンの項目としてあげられている「防犯」がAゾーンから外れている。

「医療体制」は、全域をとおして重要度の高い項目となっているが、鈴鹿・亀山、伊賀、尾鷲、熊野地域では不満度が高く、Aゾーンの項目としてあげられている。また、「ごみの減量」は、四日市、鈴鹿・亀山、松阪・紀勢地域、「きれいな空気」は、四日市地域で不満度が高く、Aゾーンの項目としてあげられている。

表 地域別にみた、特に県民ニーズの高い項目（Aゾーンにあげられている項目）

県全体	桑名・員弁地域	四日市地域	鈴鹿・亀山地域	伊賀地域
03. 学校教育	03. 学校教育	03. 学校教育	03. 学校教育	03. 学校教育
04. 青少年の健全育成	04. 青少年の健全育成	04. 青少年の健全育成	04. 青少年の健全育成	04. 青少年の健全育成
10. 地域での防災の取組	10. 地域での防災の取組	10. 地域での防災の取組	10. 地域での防災の取組	10. 地域での防災の取組
11. 災害対策		11. 災害対策	11. 災害対策	11. 災害対策
12. 交通安全	12. 交通安全	12. 交通安全	12. 交通安全	12. 交通安全
13. 防犯	13. 防犯	13. 防犯	13. 防犯	13. 防犯
17. 子育て環境		17. 子育て環境	17. 子育て環境	17. 子育て環境
			18. 医療体制	18. 医療体制
			19. 福祉サービス	
		22. ごみの減量	22. ごみの減量	
		23. きれいな空気		
24. 川や海の水質	24. 川や海の水質	24. 川や海の水質	24. 川や海の水質	24. 川や海の水質
25. 地球温暖化防止	25. 地球温暖化防止	25. 地球温暖化防止	25. 地球温暖化防止	25. 地球温暖化防止
31. 雇用	31. 雇用	31. 雇用	31. 雇用	31. 雇用
40. 快適なまちづくり		40. 快適なまちづくり	40. 快適なまちづくり	40. 快適なまちづくり
43. エネルギー	43. エネルギー	43. エネルギー	43. エネルギー	43. エネルギー

網掛けの項目は、県全体ではAゾーンにないが、地域段階でAゾーンにあげられている項目

津・久居地域	松阪・紀勢地域	伊勢志摩地域	尾鷲地域	熊野地域
03. 学校教育	03. 学校教育	03. 学校教育	03. 学校教育	03. 学校教育
04. 青少年の健全育成	04. 青少年の健全育成	04. 青少年の健全育成	04. 青少年の健全育成	04. 青少年の健全育成
10. 地域での防災の取組	10. 地域での防災の取組	10. 地域での防災の取組	10. 地域での防災の取組	10. 地域での防災の取組
11. 災害対策	11. 災害対策	11. 災害対策	11. 災害対策	11. 災害対策
12. 交通安全	12. 交通安全	12. 交通安全	12. 交通安全	12. 交通安全
13. 防犯	13. 防犯	13. 防犯		
17. 子育て環境	17. 子育て環境	17. 子育て環境	17. 子育て環境	17. 子育て環境
			18. 医療体制	18. 医療体制
	22. ごみの減量			
24. 川や海の水質	24. 川や海の水質	24. 川や海の水質	24. 川や海の水質	
25. 地球温暖化防止	25. 地球温暖化防止	25. 地球温暖化防止	25. 地球温暖化防止	
			26. 農林水産業の振興	26. 農林水産業の振興
			27. 産業振興	27. 産業振興
		30. 地域商工業	30. 地域商工業	30. 地域商工業
31. 雇用	31. 雇用	31. 雇用	31. 雇用	31. 雇用
			36. 高速交通網	36. 高速交通網
			37. 道路の整備	37. 道路の整備
			38. 公共交通機関	38. 公共交通機関
	40. 快適なまちづくり	40. 快適なまちづくり	40. 快適なまちづくり	40. 快適なまちづくり
43. エネルギー	43. エネルギー	43. エネルギー	43. エネルギー	43. エネルギー

網掛けの項目は、県全体ではAゾーンにないが、地域段階でAゾーンにあげられている項目

4. 各項目の地域特性

前章では、圏域ごとにその特徴を把握したが、本章では、項目の視点から圏域の特性を明らかにする。44項目について9圏域の標準偏差を算出して、どれくらいのばらつきがみられるかを分析することで、項目の地域特性を明らかにする。

(1) 重要度における各項目の地域特性

「高速交通網」「過疎地域等の振興」「道路の整備」「観光」「農山漁村づくり」等の標準偏差が高く、ばらつきがみられる。(図参照) また、上位5項目について各圏域の重要度の内訳を下表に示す。「高速交通網」「道路の整備」「過疎地域等の振興」の重要度は、尾鷲地域や熊野地域で高くなっているのに対して桑名・員弁地域や四日市地域で低く、圏域による相違がみられる。

一方、標準偏差が低くばらつきの少ない項目は「きれいな空気」「飲料水の供給」「福祉サービス」「地球温暖化防止」「保健予防体制」等で、これらの項目についてはどの地域の県民も同じように重要と感じているといえる。

図 重要度の標準偏差（圏域）

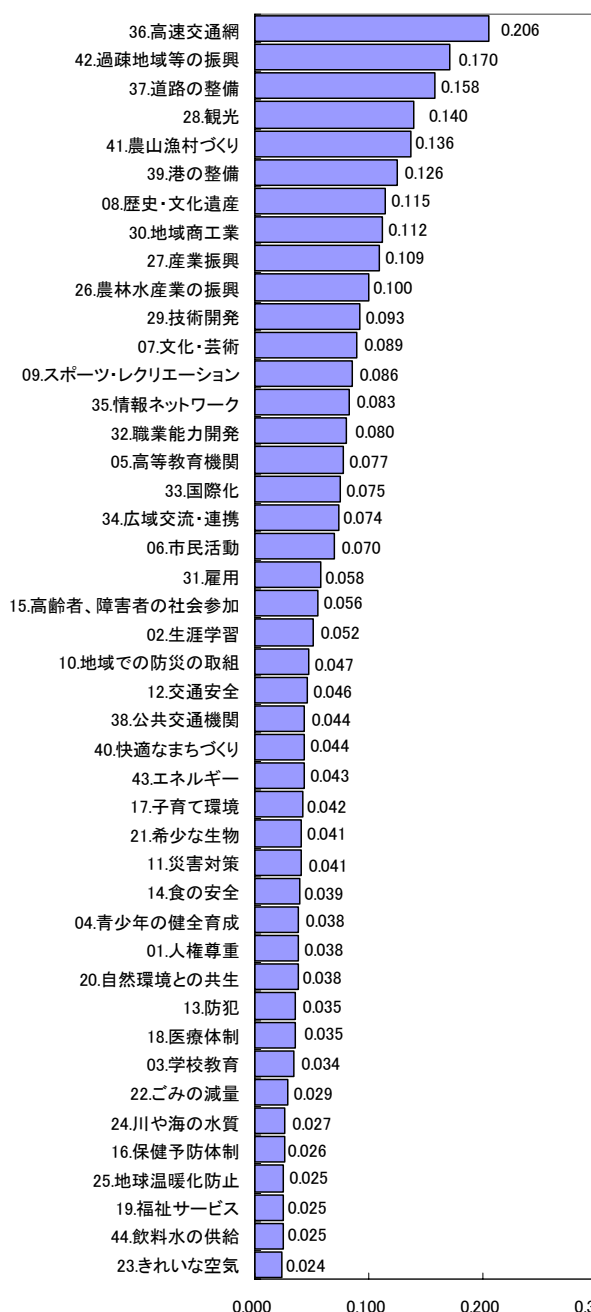


表 各圏域の重要度と標準偏差

順位	項目	重要度										標準偏差
		全体	桑名・員弁	四日市	鈴鹿・亀山	伊賀	津・久居	松阪・紀勢	伊勢・志摩	尾鷲	熊野	
1位	36.高速交通網	1.05	0.94	0.98	0.97	1.05	1.13	0.98	1.12	1.37	1.54	0.206
2位	42.過疎地域等の振興	0.95	0.84	0.85	0.90	0.95	1.00	0.95	1.05	1.30	1.28	0.170
3位	37.道路の整備	1.25	1.14	1.18	1.25	1.28	1.26	1.27	1.27	1.53	1.62	0.158
4位	28.観光	1.11	0.91	1.08	0.99	1.13	1.12	1.09	1.34	1.19	1.32	0.140
5位	41.農山漁村づくり	1.07	0.97	0.98	1.04	1.13	1.05	1.07	1.20	1.36	1.29	0.136

(2) 満足度における各項目の地域特性

「高速交通網」の標準偏差が圧倒的に高く、それに次いで「医療体制」「道路の整備」も高くなっている。また、上位5項目について各圏域の満足度の内訳を下表に示す。尾鷲地域や熊野地域では、上位5項目のうち「きれいな空気」を除いた項目の満足度が他地域と比べて低くなっている。

一方、標準偏差が低くばらつきの少ない項目は「国際化」「広域交流・連携」「学校教育」「市民活動」「保健予防体制」等であり、これらの項目の満足度は、地域でそれほど差がみられないといえる。

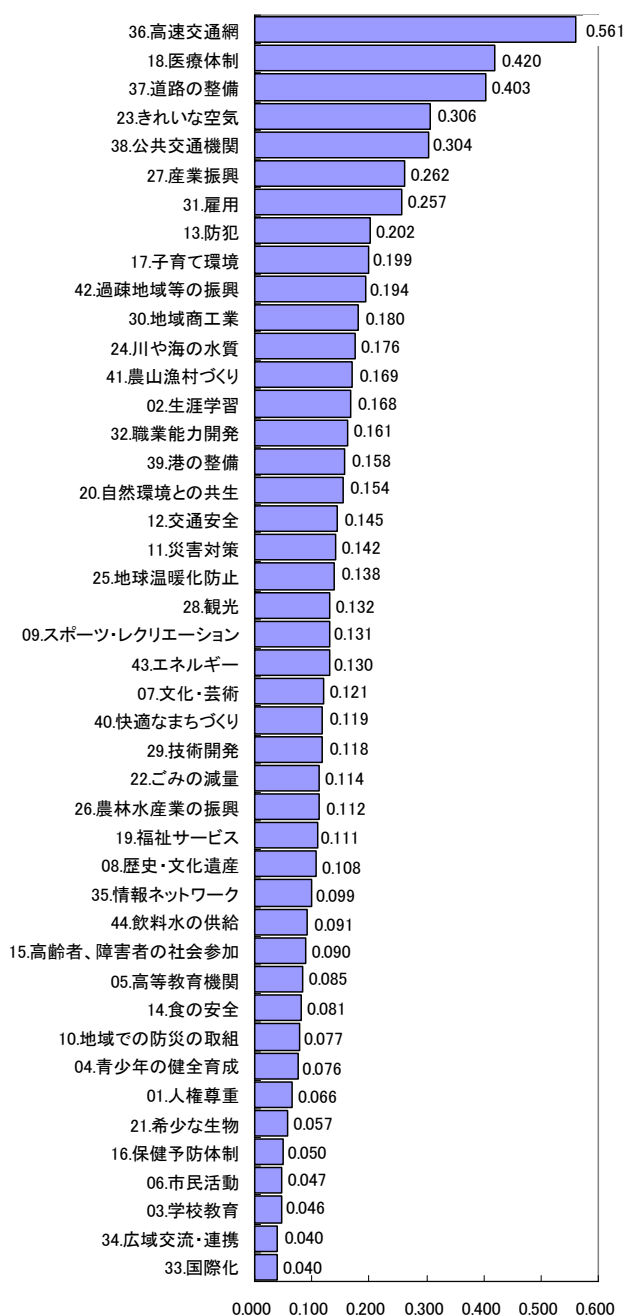


表 各圏域の満足度と標準偏差

順位	項目	満足度										標準偏差
		全体	桑名・員弁	四日市	鈴鹿・亀山	伊賀	津・久居	松阪・紀勢	伊勢・志摩	尾鷲	熊野	
1位	36.高速交通網	0.05	0.35	0.17	-0.02	-0.09	0.24	0.05	-0.04	-0.97	-1.28	0.561
2位	18.医療体制	-0.03	0.08	0.10	-0.16	-0.19	0.07	0.17	-0.04	-0.97	-0.84	0.420
3位	37.道路の整備	-0.05	0.21	-0.08	-0.16	-0.15	0.15	-0.06	-0.01	-0.80	-0.96	0.403
4位	23.きれいな空気	0.15	0.11	-0.25	-0.10	0.45	0.26	0.23	0.38	0.34	0.79	0.306
5位	38.公共交通機関	-0.30	0.01	-0.10	-0.46	-0.45	-0.28	-0.34	-0.41	-0.86	-0.90	0.304

5. 県行政の取組に対する認知意識について

(1) 認知している人のみの重要度、満足度の結果

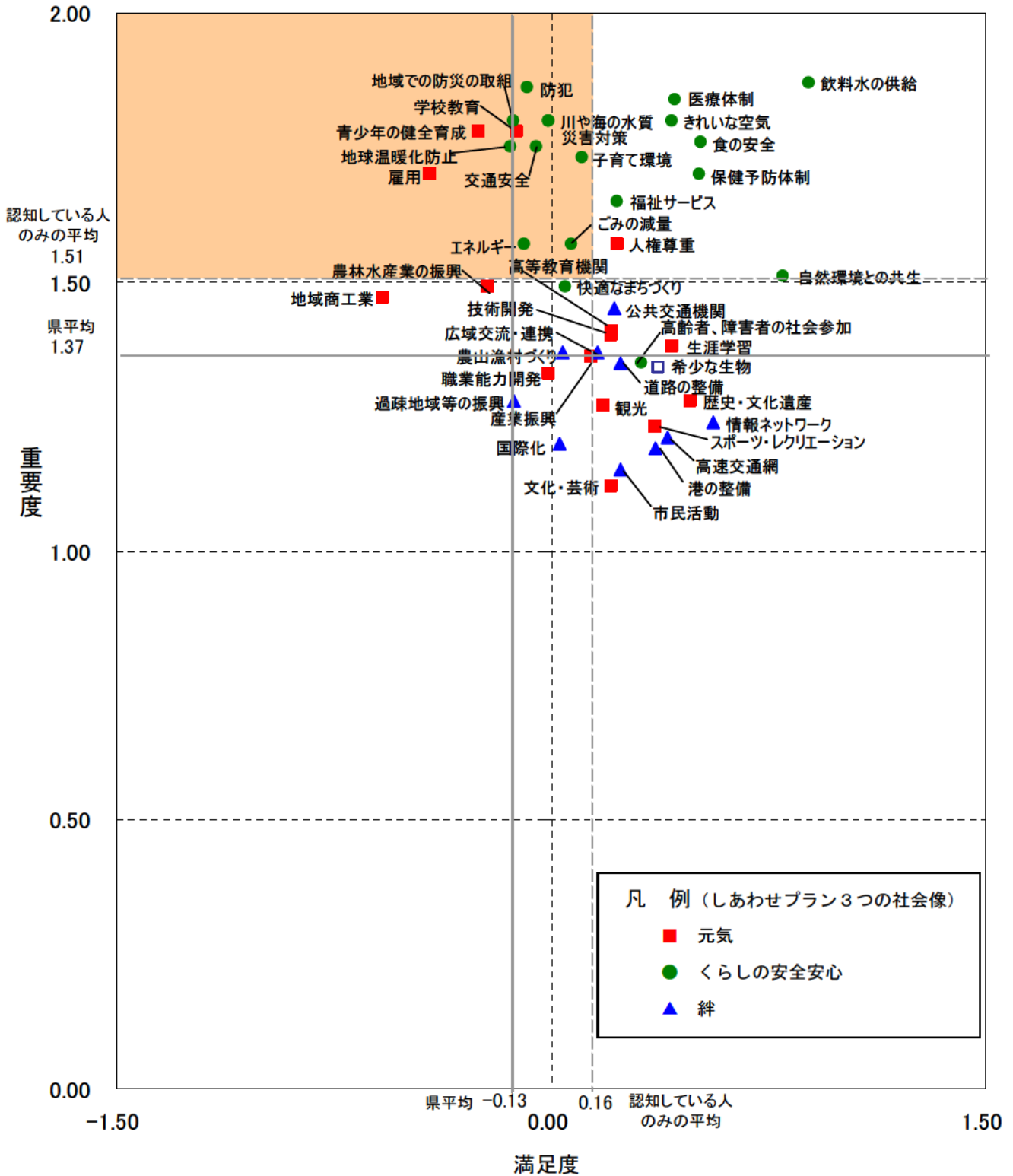
県行政の取組を認知している人のみの重要度、満足度の結果は以下のようになった。
全ての項目について、回答者全員を対象とした場合より重要度、満足度が高くなっている。

表 認知している人のみの重要度、満足度

順位	項目	重要度	項目	満足度
1位	44.飲料水の供給	1.87	44.飲料水の供給	0.89
2位	13.防犯	1.86	20.自然環境との共生	0.80
3位	18.医療体制	1.84	35.情報ネットワーク	0.56
4位	10.地域での防災の取組	1.80	14.食の安全	0.52
5位	11.災害対策	1.80	16.保健予防体制	0.51
6位	23.きれいな空気	1.80	08.歴史・文化遺産	0.48
7位	24.川や海の水質	1.80	18.医療体制	0.43
8位	03.学校教育	1.78	02.生涯学習	0.42
9位	04.青少年の健全育成	1.78	23.きれいな空気	0.42
10位	14.食の安全	1.76	36.高速交通網	0.40
11位	12.交通安全	1.75	21.希少な生物	0.37
12位	25.地球温暖化防止	1.75	09.スポーツ・レクリエーション	0.36
13位	17.子育て環境	1.73	39.港の整備	0.36
14位	31.雇用	1.70	15.高齢者、障害者の社会参加	0.31
15位	16.保健予防体制	1.70	06.市民活動	0.24
16位	19.福祉サービス	1.65	37.道路の整備	0.24
17位	01.人権尊重	1.57	01.人権尊重	0.23
18位	22.ごみの減量	1.57	19.福祉サービス	0.23
19位	43.エネルギー	1.57	38.公共交通機関	0.22
20位	20.自然環境との共生	1.51	05.高等教育機関	0.21
21位	40.快適なまちづくり	1.49	07.文化・芸術	0.21
22位	26.農林水産業の振興	1.49	29.技術開発	0.21
23位	30.地域商工業	1.47	28.観光	0.18
24位	38.公共交通機関	1.45	34.広域交流・連携	0.16
25位	29.技術開発	1.41	27.産業振興	0.14
26位	05.高等教育機関	1.40	17.子育て環境	0.11
27位	02.生涯学習	1.38	22.ごみの減量	0.07
28位	34.広域交流・連携	1.37	40.快適なまちづくり	0.05
29位	41.農山漁村づくり	1.37	41.農山漁村づくり	0.04
30位	27.産業振興	1.36	33.国際化	0.03
31位	15.高齢者、障害者の社会参加	1.35	11.災害対策	-0.01
32位	37.道路の整備	1.35	24.川や海の水質	-0.01
33位	21.希少な生物	1.34	32.職業能力開発	-0.01
34位	32.職業能力開発	1.33	12.交通安全	-0.05
35位	08.歴史・文化遺産	1.28	13.防犯	-0.08
36位	42.過疎地域等の振興	1.28	43.エネルギー	-0.09
37位	28.観光	1.27	03.学校教育	-0.12
38位	35.情報ネットワーク	1.24	10.地域での防災の取組	-0.13
39位	09.スポーツ・レクリエーション	1.23	42.過疎地域等の振興	-0.13
40位	36.高速交通網	1.21	25.地球温暖化防止	-0.14
41位	33.国際化	1.20	26.農林水産業の振興	-0.22
42位	39.港の整備	1.19	04.青少年の健全育成	-0.25
43位	06.市民活動	1.15	31.雇用	-0.42
44位	07.文化・芸術	1.12	30.地域商工業	-0.58
	重要度平均	1.51	満足度平均	0.16

(2) 認知している人のみの重要度、満足度プロット図

図 認知している人のみの重要度と満足度の関係（平成17年度）



(3) 認知していない人のみの重要度、満足度の結果

県行政の取組を認知していない人（「あまり知らない」＋「知らない」）のみの重要度、満足度の結果は以下のようになった。

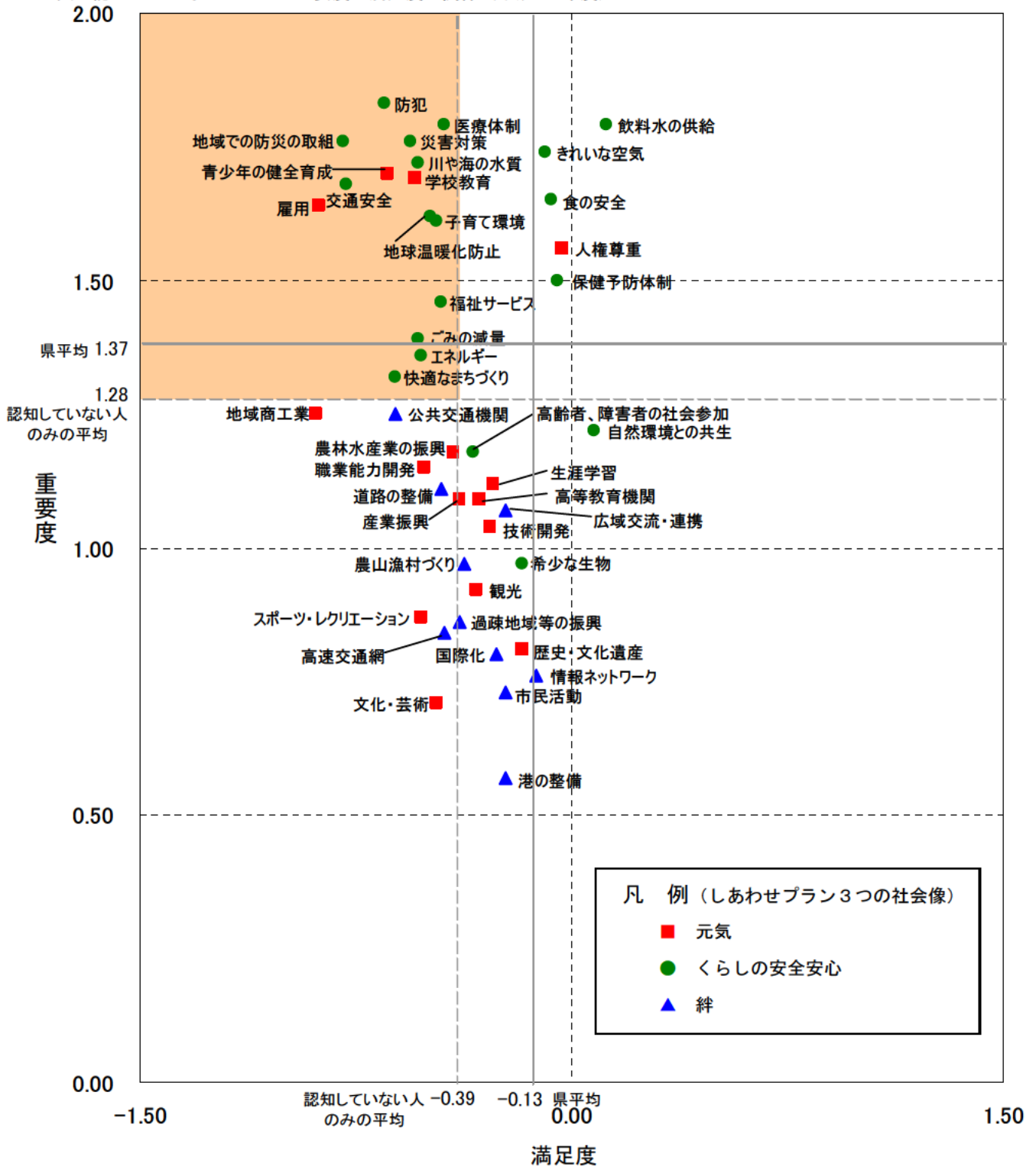
重要度、満足度ともに、認知している人のみの場合と比べて低くなっている。

表 認知していない人のみの重要度、満足度

順位	項目	重要度	項目	満足度
1位	13.防犯	1.83	44.飲料水の供給	0.12
2位	18.医療体制	1.79	20.自然環境との共生	0.08
3位	44.飲料水の供給	1.79	01.人権尊重	-0.03
4位	10.地域での防災の取組	1.76	16.保健予防体制	-0.05
5位	11.災害対策	1.76	14.食の安全	-0.07
6位	23.きれいな空気	1.74	23.きれいな空気	-0.09
7位	24.川や海の水質	1.72	35.情報ネットワーク	-0.12
8位	04.青少年の健全育成	1.70	08.歴史・文化遺産	-0.17
9位	03.学校教育	1.69	21.希少な生物	-0.17
10位	12.交通安全	1.68	39.港の整備	-0.23
11位	14.食の安全	1.65	06.市民活動	-0.23
12位	31.雇用	1.64	34.広域交流・連携	-0.23
13位	25.地球温暖化防止	1.62	33.国際化	-0.26
14位	17.子育て環境	1.61	02.生涯学習	-0.27
15位	01.人権尊重	1.56	29.技術開発	-0.28
16位	16.保健予防体制	1.50	05.高等教育機関	-0.32
17位	19.福祉サービス	1.46	28.観光	-0.33
18位	22.ごみの減量	1.39	15.高齢者、障害者の社会参加	-0.34
19位	43.エネルギー	1.36	41.農山漁村づくり	-0.37
20位	40.快適なまちづくり	1.32	27.産業振興	-0.39
21位	30.地域商工業	1.25	42.過疎地域等の振興	-0.39
22位	38.公共交通機関	1.25	26.農林水産業の振興	-0.41
23位	20.自然環境との共生	1.22	36.高速交通網	-0.44
24位	15.高齢者、障害者の社会参加	1.18	18.医療体制	-0.44
25位	26.農林水産業の振興	1.18	37.道路の整備	-0.45
26位	32.職業能力開発	1.15	19.福祉サービス	-0.45
27位	02.生涯学習	1.12	07.文化・芸術	-0.47
28位	37.道路の整備	1.11	17.子育て環境	-0.47
29位	05.高等教育機関	1.09	25.地球温暖化防止	-0.49
30位	27.産業振興	1.09	32.職業能力開発	-0.51
31位	34.広域交流・連携	1.07	43.エネルギー	-0.52
32位	29.技術開発	1.04	09.スポーツ・レクリエーション	-0.52
33位	21.希少な生物	0.97	24.川や海の水質	-0.53
34位	41.農山漁村づくり	0.97	22.ごみの減量	-0.53
35位	28.観光	0.92	03.学校教育	-0.54
36位	09.スポーツ・レクリエーション	0.87	11.災害対策	-0.56
37位	42.過疎地域等の振興	0.86	40.快適なまちづくり	-0.61
38位	36.高速交通網	0.84	38.公共交通機関	-0.61
39位	08.歴史・文化遺産	0.81	04.青少年の健全育成	-0.64
40位	33.国際化	0.80	13.防犯	-0.65
41位	35.情報ネットワーク	0.76	12.交通安全	-0.78
42位	06.市民活動	0.73	10.地域での防災の取組	-0.79
43位	07.文化・芸術	0.71	31.雇用	-0.88
44位	39.港の整備	0.57	30.地域商工業	-0.89
	重要度平均	1.28	満足度平均	-0.39

(4) 認知していない人のみの重要度、満足度プロット図

図 認知していない人のみの重要度と満足度の関係 (平成 17 年度)



認知している人のみを対象とした場合の重要度、満足度は全体的に拮抗が小さく、回答者全員を対象にした場合と比較して右上に移行している。特に重要度は、全ての施策が1.0を上回っている。また、認知していない人のみを対象とした場合の重要度、満足度は、回答者全員を対象とした場合と比較して左下に移行している。いずれにしても、Aゾーンの項目については、全員を対象とした場合と比較してほとんど変わっていない。

認知している人と認知していない人とを比較すると、44項目全ての重要度、満足度は、認知している人のみを対象とした場合が認知していない人のみを対象とした場合を上回っており、施策の取組を知っているほど重要性を訴える傾向や、施策の取組を知っているほど満足している傾向がみられる。そのため、施策の重要性を理解し、満足してもらうためにはさらなる啓発活動が必要といえる。

例えば重要度について、認知している人としていない人との差が大きいものとして「港の整備」「情報ネットワーク」「歴史・文化遺産」「過疎地域等の振興」「市民活動」等があげられる。このうち「歴史・文化遺産」(49.2%)、「市民活動」(48.2%)、「情報ネットワーク」(47.1%)は認知意識が約半数を占めているものの、「港の整備」(25.4%)、「過疎地域等の振興」(25.1%)等は認知意識が25%程度であり、県の取組自体の認知度が低い項目である。したがって、これらの取組を今後積極的にPRすることにより、施策や事業の必要性について県民の理解の高まりが期待できる項目といえる。

また、満足度についても、認知している人としていない人との差が大きいものとして「スポーツ・レクリエーション」「医療体制」「高速交通網」「公共交通機関」「飲料水の供給」等があげられるが、特に「公共交通機関」は県民の3割程度(33.7%)にしか取組が認知されていない状況に置かれている。これらの項目は、取組内容を知ってもらうことで満足度があがる可能性を秘めた施策であるといえる。

表 認知している人と認知していない人とで差が大きい項目

重要度				満足度			
項目	認知している人 のみの重要度	認知していない 人のみの重要度	差	項目	認知している人 のみの満足度	認知していない 人のみの満足度	差
39.港の整備	1.19	0.57	0.62	09.スポーツ・レクリエーション	0.36	-0.52	0.88
35.情報ネットワーク	1.24	0.76	0.48	18.医療体制	0.43	-0.44	0.87
08.歴史・文化遺産	1.28	0.81	0.47	36.高速交通網	0.40	-0.44	0.84
21.過疎地域等の振興	1.28	0.86	0.42	38.公共交通機関	0.22	-0.61	0.83
06.市民活動	1.15	0.73	0.42	44.飲料水の供給	0.89	0.12	0.77

一方、認知している人としていない人の重要度の差が0.1未満の項目として「人権尊重」「防犯」「災害対策」「地域での防災の取組」「医療体制」「雇用」「きれいな空気」「交通安全」「飲料水の供給」「川や海の水質」「青少年の健全育成」「学校教育」があげられる。これらはいずれも重要度が高い項目であり、認知の如何に関わらず重要と感じている人が多いことがうかがえる。

表 認知している人と認知していない人とで重要度の差が小さい項目

項目	認知している人のみの重要度	認知していない人のみの重要度	差	重要度順位
01.人権尊重	1.57	1.56	0.01	16位
13.防犯	1.86	1.83	0.03	1位
11.災害対策	1.80	1.76	0.04	5位
10.地域での防災の取組	1.80	1.76	0.04	4位
18.医療体制	1.84	1.79	0.05	3位
31.雇用	1.70	1.64	0.06	14位
23.きれいな空気	1.80	1.74	0.06	6位
12.交通安全	1.75	1.68	0.07	10位
44.飲料水の供給	1.87	1.79	0.08	2位
24.川や海の水質	1.80	1.72	0.08	7位
04.青少年の健全育成	1.78	1.70	0.08	9位
03.学校教育	1.78	1.69	0.09	8位